

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020270

政策目標	2	めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	9	障がい者支援の充実	事業優先度	B		
単位施策	1	生活支援の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	雄武町身体障害者福祉協会運営補助事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	5 保健福祉課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	協会の安定運営		関係課	#N/A		
事業目標	運営費補助		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計画 内 容	身体障害者手帳を所持する方で組織されている雄武町身体障害者福祉協会の活動促進と、協会事業の振興に寄与するとともに、協会の福祉向上を図るため、運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。
	事業費(千円)	150	30	30	30	30
計画 事業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	150	30	30	30	30	
実績 事業 費	事業費(千円)	120	30	30	30	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	120	30	30	30	30	
関連 事項	特定財源の名称					
	【評価・実績】	(実施内容等) 身体障害者福祉協会の振興と活動活性化の促進するための運営費補助	(実施内容等) 身体障害者福祉協会の振興と活動活性化の促進するための運営費補助	(実施内容等) 身体障害者福祉協会の振興と活動活性化の促進するための運営費補助	(実施内容等) 身体障害者福祉協会の振興と活動活性化の促進するための運営費補助	(実施内容等) 身体障害者福祉協会の振興と活動活性化の促進するための運営費補助
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 運営費補助	年度達成率 100%	年度目標値 運営費補助	年度達成率 100%	年度達成率 100%
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度目標値 運営費補助	年度達成率 20%	年度目標値 運営費補助	年度達成率 40%	年度達成率 80%
	備考欄					

事業名	雄武町身体障害者福祉協会運営補助事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	社会福祉係	西方 苗

様式1  
平成28年度実施  
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町身体障害者福祉協会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	運営補助金の交付	
【抱える課題やニーズは】	障がい者の自立を求める意識が強まる一方で障がい者を取り巻く環境は未だ不利なものが多く、改善が求められている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	障がい者同士が相互交流、情報交換を通じ個々の障害種別を相互に補填し合うことで、自立が図られ、障がい者が自らの能力に応じて社会参加できる環境づくりを目指す。	① 交付実績	目標年度	平成28年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	障がい種別や程度に応じた支援活動、啓発活動を行うことで障がい者自身が社会参加や自立に向けた活動を主体的に取り組める。		目標値	30千円
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	補助金の交付 雄武町身体障害者福祉協会へ運営費の補助金を交付した。	②	実績値	30千円
			達成度	100.0%
			目標年度	平成28年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	障がい者が集い、相互交流や情報交換を通じ、各々の力に応じた活動展開を目的としていることから、その活動を支援するためにも、補助の必要性は高い。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことで、雄武町身体障害者福祉協会の活動が促進された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	障がい種別に的確に対応した事業内容を実施できる点で身体障害者福祉協会による事業の実施は効率的である。また平成27年度に事務局を社会福祉協議会に移管したため事務の軽減につながり効率的である。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	会員以外の障がい者の参加を拡大していく取り組みも必要であるが、障がい者自身が社会参加や自立に向けた活動への取り組みという観点から、運営費を補助することは公平と判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本団体は、多くの障がい者が集い交流する場であるため、団体の維持、存続を図るためにも必要性が高い。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
本団体は、障がい者福祉の向上に大きな役割を担っており、その団体の運営に対し支援することは必要性が高く、継続実施が適当である。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止